

「かながわスポーツ・プラットフォーム」について

1 概要

スポーツを通じて地域の活性化や共生社会の実現など社会的な課題を解決するため、自治体や企業、スポーツ関係団体などが情報を共有、連携する場として、プラットフォームを設置（令和5年8月16日から会員登録し、8月28日現在で74団体が登録）

2 背景

- (1) 令和5年3月にスポーツ推進計画を見直し、企業やスポーツ関係団体と連携して、スポーツ振興やスポーツを通じた地域活性化・共生社会の実現を推進
- (2) 本県には、プロスポーツチームやスポーツに高い関心のある企業が多数



「企業、スポーツチームや自治体等とつながりながら意見交換し、スポーツの盛り上げや社会貢献活動に取り組みたい」との声が多数あり



3 対象

スポーツをテーマにした取組に意欲または関心のある県内の市町村、企業、スポーツチーム、アスリート、スポーツ団体、大学等

4 会員登録団体（令和5年8月28日現在 合計74団体）※団体名は別紙2のとおり

- | | |
|---------------|------|
| (1) 市町村 | 25団体 |
| (2) プロスポーツチーム | 27団体 |
| (3) 企業 | 16団体 |
| (4) スポーツ関係団体等 | 6団体 |

5 プラットフォームの進め方

- (1) 具体的なテーマや連携アイデアを会員から募集し、テーマごとのワーキングチーム（部会）の設置等を通じて県がコーディネートし、団体間の連携を促進
- (2) その他、スポーツをテーマとした取組に関する情報、意見交換や交流促進など

6 想定テーマ

- スポーツによる地域活性化
- スポーツ実施率の向上
- 女性の運動・スポーツ促進
- 地域スポーツの推進
- スポーツによるまちづくり
- スポーツDX(観るスポーツ、競技力向上) など
- スポーツを通じた健康増進
- 3033運動の普及・推進
- 障がい者スポーツの普及
- スポーツを通じた共生社会の実現
- 東京2020大会のレガシー

7 プロスポーツとの連携

プロスポーツチームと意見交換していく中、すでに取組の連携が実現

(1) 県民の運動促進 (10月)

今年の「県民スポーツ月間」において、ホームゲーム会場で、県民の運動実践のコラボイベント（フォトラリー等）を展開（計13チーム）

(2) 共生社会の実現 (9月～11月)

大きな音や強い光が苦手な方向けにセンサリールームでの観戦やろう学校の子どもたちにアプリを活用した観戦を、県との連携により対象を県域に拡大